

2024年度

下有地向永谷線・6-1

福山市 芦田 町 地内

道路のり面修繕工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計		第1回変更
	工事延長	L=37.6m	
モルタル吹付工	A=322m ²		
ラス張工	A=513m ²		
吹付砕工	L=581m		
鉄筋挿入工	N=21本		
U型側溝	L=13m		
現場打水路工	L=49m		
舗装工	A=48m ²		

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、道路のり面修繕工事（下有地向永谷線・6-1）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第3節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

第4節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 現場標示板等について

「第20 回世界パラ会議福山大会2025」の周知と機運醸成を図るため、現場標示板等へ大会ロゴの標示について、ご協力をお願いします。

- ・使用するロゴは「第20 回世界パラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿ったものとする。
- ・「第20 回世界パラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。
- ・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。
- ・大会ロゴの標示については任意事項とし、標示に必要な経費は工事費に計上しない。
- ・ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日とする。
(デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へお問い合わせください。)

第3節 福山市週休2日モデル工事について

本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日モデル工事の対象工事です。詳細については、別紙（土木関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について）によるものとします。

土木関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について

- 1 本工事は、契約締結後において受注者の希望により行う週休2日モデル工事である。なお、このモデル工事の取組を希望しない受注者は、4～14に規定する義務を負わない。
- 2 このモデル工事に係る用語の定義は、次の各号に定めるものとする。
 - (1) 月単位の週休2日 対象期間内の全ての月毎に現場閉所（現場休息）日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が、4週8休（28分の8の日数をいう。）以上の水準の状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の現場閉所（現場休息）では4週8休に満たない月は、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所（現場休息）を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。
 - (2) 通期の週休2日 対象期間内において現場閉所率が4週8休以上の水準の状態をいう。
 - (3) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (4) 現場休息 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (5) 対象期間 工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から本体工事又は仮設工事の着手までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
- 3 受注者は、契約締結後速やかに週休2日モデル工事の実施希望の有無等を記載した所定の確認票を建設政策課契約担当に提出するものとする。
- 4 受注者は、週休2日モデル工事を実施する場合は、契約締結後速やかに工事打合せ簿により監督員へ申出を行い、工事着手までに所定の現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所（現場休息）する場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日モデル工事である旨を、施設管理者の承諾を得て所定の様式により仮囲い等に明示しなければならない。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所（現場休息）状況を記入し、現場閉所（現場休息）状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日まで及び工事完成後に、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日モデル工事を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。

10 週休2日モデル工事において、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、変更契約において現場閉所（現場休息）の実績に応じた経費の補正を行うものとする。

11 土木工事に係る経費の補正にあつては、次の各号に掲げる現場閉所（現場休息）の実績に応じ、当該各号に定める補正係数、別表に定める市場単価の補正係数及び土木工事標準単価の補正係数を用いるものとする。ただし、港湾工事（港湾土木請負工事積算基準を適用した工事）については、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を月単位で達成した場合に限り、経費の補正を行うものとする。

(1) 月単位の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）

ア 労務費	1.04
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.03（港湾工事を除く。）
エ 共通仮設費	1.02（港湾工事に限る。）
オ 現場管理費	1.05（港湾工事を除く。）
カ 現場管理費	1.03（港湾工事に限る。）

(2) 通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）

ア 労務費	1.02
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.02
エ 現場管理費	1.03

12 前項第1号ア及び第2号アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

13 農林工事に係る経費の補正にあつては、次の各号に掲げる現場閉所（現場休息）の実績に応じ、当該各号に定める補正係数、別表に定める市場単価及び標準単価の補正係数を用いるものとする。

(1) 土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）適用工事

通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）

ア 労務費	1.02
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.02
エ 現場管理費	1.05

(2) 治山林道必携適用工事

通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）

ア 労務費	1.05
イ 機械経費（賃料）	1.04
ウ 共通仮設費	1.04
エ 現場管理費	1.06

14 前項第1号ア及び第2号アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、

電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

15 4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

なお、週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

16 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）

名称	区分	補正係数	
		通期 4週8休以上	月単位 4週8休以上
鉄筋工		1.02	1.04
ガス圧接工		1.02	1.03
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.04
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.02
道路標識設置工	設置	1.00	1.01
	撤去・移設	1.02	1.03
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04
法面工		1.01	1.02
吹付砕工		1.01	1.03
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.02	1.03
道路植栽工	植樹	1.02	1.04
	剪定	1.02	1.04
公園植栽工		1.02	1.04
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.04
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.01
グルーピング工		1.00	1.01
軟弱地盤処理工		1.01	1.02
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02
砂基礎工	人力施工	1.02	1.04
	機械施工	1.02	1.04
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.04
	機械施工	1.02	1.04
組立マンホール設置工		1.02	1.03
小型マンホール工		1.00	1.01
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.01
	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.02

港湾工事市場単価の補正係数

名称	補正係数
	月単位 4週8休以上
底面工	1.03
マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.00
支保工	1.04
足場工	1.02
鉄筋工	1.04
吊鉄筋工	1.04
型枠工	1.03
コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.04
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.04
止水板工	1.04
上蓋工	1.04
伸縮目地工	1.02
係船柱取付	1.04
防舷材取付	1.04
車止・縁金物取付	1.04
係船柱撤去	1.04
防舷材撤去	1.04
車止撤去	1.04
電気防食取付	1.04
防砂目地板取付工（陸上施工）	1.04
防砂目地板取付工（水中施工）	1.03
吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.03
港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.03
ペトロラタム被覆	1.04
現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.04
現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.04
かき落とし工	1.04
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.03
汚濁防止枠設置・撤去	1.02
灯浮標設置・撤去	1.03
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり・水中目視点検）	1.01
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.04
異形ブロック製作型枠工	1.04
異形ブロック製作コンクリート打設工	1.04
異形ブロック製作給熱養生	1.03

農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.02
鉄筋工（ガス圧接）		1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00
	撤去	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02
	撤去	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00
	撤去	1.02
道路標識設置工	設置	1.00
	撤去・移設	1.02
道路付属物設置工	設置	1.01
	撤去	1.02
法面工		1.01
吹付砕工		1.01
軟弱地盤処理工		1.01
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02
橋面防水工		1.01

農林工事（治山林道必携適用工事）市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.05
鉄筋工（ガス圧接）		1.04
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.01
	撤去	1.05
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.04
	撤去	1.05
防護柵設置工（落石防護柵）		1.02
防護柵設置工（落石防止網）		1.03
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.01
	撤去	1.05
道路標識設置工	設置	1.01
	撤去・移設	1.04
道路付属物設置工	設置	1.02
	撤去	1.05
法面工		1.02
吹付砕工		1.03
軟弱地盤処理工		1.02
鉄筋挿入工（ロックボルト）		1.03

土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		通期 4週8休以上	月単位 4週8休以上
区画線工		1.02	1.04
高視認性区画線工		1.02	1.04
橋梁塗装工		1.01	1.03
構造物とりこわし工	機械	1.02	1.03
	人力	1.02	1.04
排水構造物工		1.02	1.04

農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
区画線工		1.02
排水構造物工		1.02
コンクリートブロック積工		1.02
構造物とりこわし工	機械	1.02
	人力	1.02
鋼橋塗装工		1.01

農林工事（治山林道必携適用工事）標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
区画線工		1.05
排水構造物工		1.05
コンクリートブロック積工		1.05
構造物とりこわし工	機械	1.04
	人力	1.05

① 土木工事及び農林工事

ご協力をお願いします	
週休2日モデル工事	
〇〇〇〇〇を なおしています	
〇〇年〇〇月まで	
時間帯〇:〇〇~〇:〇〇	
〇〇〇〇工事	
発注者	福山市 〇〇〇〇課 電話 000-000-0000
施工者	〇〇〇〇建設株式会社 電話 000-000-0000

② 建築工事

週休2日 モデル工事

(A3サイズ以上)

③ 共通

週休2日モデル工事
この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日の確保に取り組む工事です。
発注者：福山市〇〇〇〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(A3サイズ以上)

掲示内容

土木工事・農林工事等については①及び③、建築工事については②及び③を基本とする。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 70 福山市 00-06.09.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 04 道路改良工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
斜面对策					Y1D03 レベル1
	1	式			
砂防土工					Y1D0301 レベル2
	1	式			
掘削工					Y1D030101 レベル3
	1	式			
掘削 【土質,施工方法,押土の有無】 【障害の有無,施工数量】					Y1D03010101 レベル4
		m3			
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満					SPK24040001 00
	8	m3			単第0 -0001 表
残土処理工					Y1D030109 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 【土質】					Y1D03010902 レベル4
		m3			
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)					SPK24040002 00
	10	m3			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土等処分		m3			Y1D03010903 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分 砂質土	10	m3			F0000000001 00
法面工					Y1D0303 レベル2
	1	式			
吹付工					Y1D030302 レベル3
	1	式			
モルタル吹付 【セメント種類, 吹付厚】					Y1D03030201 レベル4
		m2			
モルタル吹付工(枠内吹付) 厚8cm [規]250m2以上500m2未満	322	m2			SS000267 00
[加算額]水切りモルタル・コンクリート					単第0 -0003 表 TS967 00
	8	m3			
法枠工					Y1D030303 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
吹付砕 【法砕規格,中詰材種類】		m2			Y1D03030303レベル4
ラス張工 [規]500m2以上1,000m2未満	513	m2			SS000187 00 単第0 -0004 表
吹付砕工 梁断面_300×300 [規]500m以上	581	m			SS000185 00 単第0 -0005 表
アンカー工	1	式			Y1D030306 レベル3
鉄筋挿入 【鉄筋規格,削孔長,現場条件,施工規模】		m			Y1D01050701レベル4
鉄筋挿入工 現場条件I [規]100m未満	21	本			SS000259 00 単第0 -0006 表
防草コンクリート	1	式			Y1E010109 レベル3
張りコンクリート 【Co規格,Co夜間割増の有無】		m2			Y1E01090803レベル4
張コンクリート t=100	17	m2			V0000000003 00 単第0 -0008 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
排水構造物工					Y1C0112 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1A010201 レベル3
	1	式			
床掘り 【土質】					Y1A01020102 レベル4
		m3			
床掘り 土砂 上記以外(小規模)					SPK24040015 00
	8	m3			単第0 -0010 表
埋戻し 【土質区分,土質】					Y1A01020103 レベル4
		m3			
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)					SPK24040020 00
	3	m3			単第0 -0011 表
側溝工					Y1A011114 レベル3
	1	式			
プレキャストU型側溝 【U型側溝規格】					Y1A01111401 レベル4
		m			
U型側溝 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種 300A[300×300×2000]					SDT00013 00
	13	m			単第0 -0012 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場打水路 【内幅,内高,Co規格】		m			Y1D03050601 レベル4
1号小段排水工 t=100	30	m			V0000000001 00 単第0 -0013 表
2号小段排水工 t=100	19	m			V0000000002 00 単第0 -0014 表
構造物撤去工	1	式			Y1A0309 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1A011406 レベル3
舗装版破碎 【舗装版種別,舗装版厚】		m2			Y1A01140603 レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	37	m2			SPK24040305 00 単第0 -0015 表
コンクリート構造物取壊し 【構造物区分,工法区分】		m3			Y1A01140601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	4	m3			SDT00031 00 単第0 -0016 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬処理工					Y1A011416 レベル3
	1	式			
殻運搬 【殻種別】					Y1A01030202 レベル4
		m3			
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)	2	m3			SPK24040151 00 単第0 -0017 表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	4	m3			SPK24040151 00 単第0 -0018 表
殻処分 【殻種別】					Y1A01030203 レベル4
		m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
殻処分 As殻	4	t			F0000000002 00
殻処分 Co殻	9	t			F0000000003 00
舗装工					Y1A0418 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト舗装工					Y1A011106 レベル3
	1	式			
表層(車道・路肩部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】					Y1A01110609レベル4
		m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm	48	m2			SPK24040241 00 単第0 -0019 表
上層路盤(車道・路肩部) 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】					Y1A01110603レベル4
		m2			
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	48	m2			SPK24040234 00 単第0 -0020 表
下層路盤(車道・路肩部) 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】					Y1A01110601レベル4
		m2			
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	48	m2			SPK24040232 00 単第0 -0021 表
仮設工					Y1D0310 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1D031021 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員					Y1D03102101レベル4
交通誘導警備員B		人			R0369 00
	46	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

図面番号	1 / 10	縮 尺	S=1:10,000
工 種	道路のり面修繕工事		
種 別	位置図	番号	
路 線 名	下有地向永谷線・6-1		
工事箇所	福山市芦田町地内		

福 山 市



図面番号	2/10	縮尺	S=1:250
工種	道路のり面修繕工事		
種別	平面図	番号	
路線名	下有地向永谷線・6-1		
工事箇所	福山市芦田町地内		
福山市			



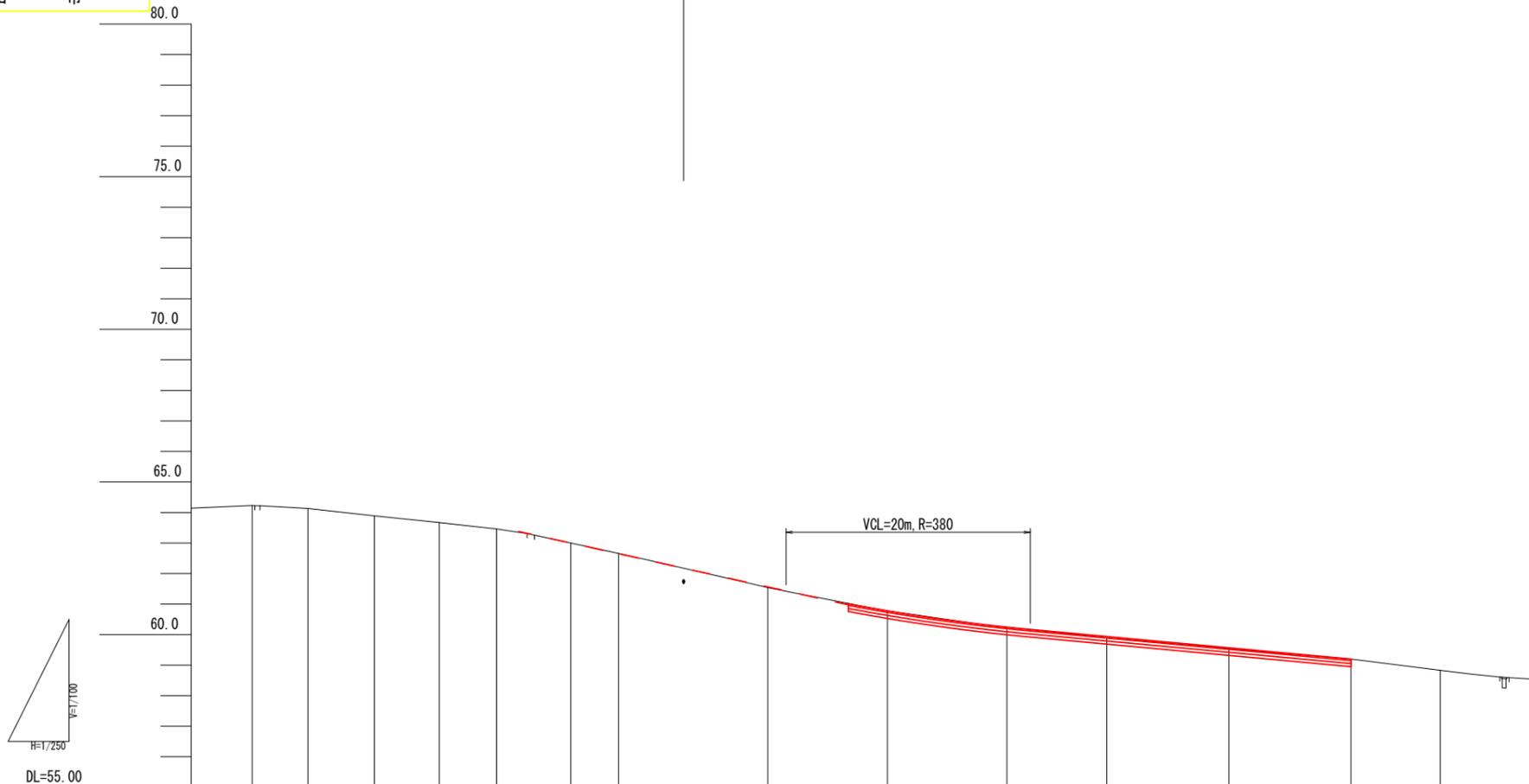
S=1:250



図面番号	3/10	縮尺	H=1:250 V=1:100
工種	道路のり面修繕工事		
種別	縦断面	番号	
路線名	下有地向永谷線・6-1		
工事箇所	福山市芦田町地内		
福山市			



NO. 1415.32
標高 61.00 1451.89



勾配																				
盛土	0.01 0.01 0.04 0.03																			
切土	0.01 0.01																			
計画高	61.01 60.92 60.78 60.33 60.25 59.94 59.57 59.20 58.83																			
地盤高	64.23	64.13	63.89	63.67	63.46	63.00	62.66	61.75	61.54	61.02	60.92	60.78	60.32	60.24	59.90	59.54	59.20	58.83	58.70	
追加距離	0.000	4.558	10.000	15.326	20.000	26.093	30.000	40.000	42.230	48.820	50.000	52.023	60.000	61.815	70.000	80.000	90.000	97.300	100.000	
単距離	0.000	4.558	5.442	5.326	4.674	6.093	3.907	10.000	2.230	6.590	1.590	2.023	7.977	1.815	8.185	10.000	10.000	7.300	2.700	
測点	NO.0	BC.1	NO.0+10	SP.1	NO.1	EC.1	NO.1+10	NO.2	BC.2	NO.2+8.82	NO.2+10	SP.2	NO.3	EC.2	NO.3+10	NO.4	NO.4+10	NO.4+7.300	NO.5	
曲線	IP 1 IA=17-37-34 R=70 TL=10.853 CL=21.535 SL=0.836										IP 2 IA=7-00-48 R=160 TL=9.805 CL=19.585 SL=0.300									
片勾配摺付図																				

図面番号	4/10	縮尺	S=1:50
工種	道路のり面修繕工事		
種別	標準横断図	番号	1/2
路線名	下有地向永谷線・6-1		
工事箇所	福山市芦田町地内		
福 山 市			

標準横断図 (本線) (1)

S=1:50

SP. 2付近

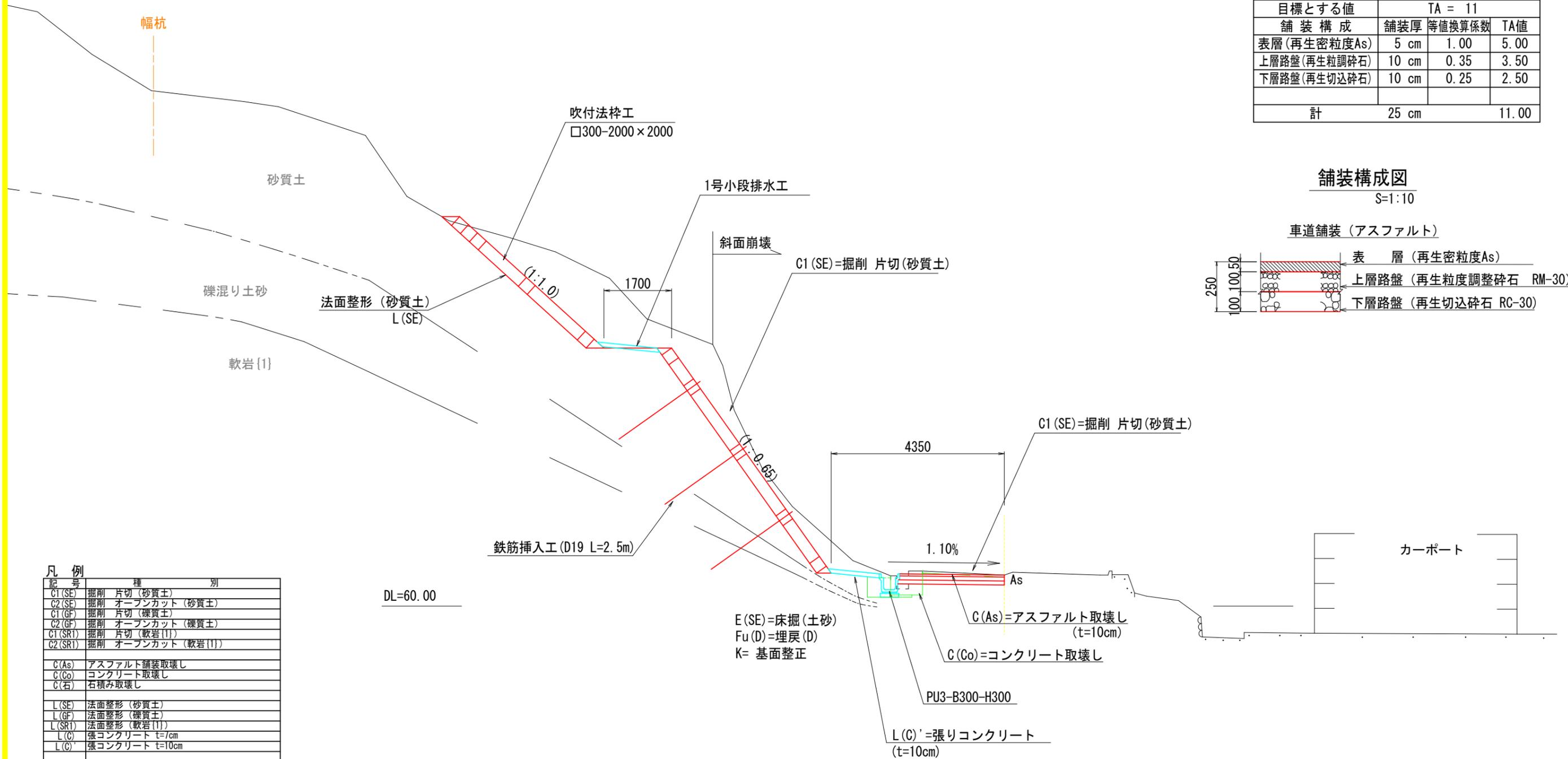
道路規格と舗装構成

道路規格	第3種 第5級		
設計速度	V = 20 km/h		
標準幅員構成	W = 5.00m		
交通の区分	T < 100		
設計 CBR	8 %以上		
目標とする値	TA = 11		
舗装構成	舗装厚	等値換算係数	TA値
表層 (再生密粒度As)	5 cm	1.00	5.00
上層路盤 (再生粒度調整碎石)	10 cm	0.35	3.50
下層路盤 (再生切込碎石)	10 cm	0.25	2.50
計	25 cm		11.00

舗装構成図

S=1:10

車道舗装 (アスファルト)



凡例

記号	種別
C1(SE)	掘削 片切 (砂質土)
C2(SE)	掘削 オープンカット (砂質土)
C1(GF)	掘削 片切 (礫質土)
C2(GF)	掘削 オープンカット (礫質土)
C1(SR1)	掘削 片切 (軟岩 [1])
C2(SR1)	掘削 オープンカット (軟岩 [1])
C(As)	アスファルト舗装取壊し
C(Co)	コンクリート取壊し
C(石)	石積み取壊し
L(SE)	法面整形 (砂質土)
L(GF)	法面整形 (礫質土)
L(SR1)	法面整形 (軟岩 [1])
L(C)	張コンクリート t=7cm
L(C)'	張コンクリート t=10cm
E(SE)	床掘 (砂質土)
E(GF)	床掘 (礫質土)
E(SR1)	床掘 (軟岩 [1])
Fu(C)	埋戻 (C) 埋戻し幅 1m ≤ W1 < 4m
Fu(D)	埋戻 (D) 埋戻し幅 W1 < 1m
K	基面整正
G	裏込碎石
W1	車道舗装 表層 (再生密粒度As)
W2	上層路盤 (再生粒度調整碎石RM-30)
W3	下層路盤 (再生切込碎石RC-30)

図面番号	5/10	縮尺	S=1:50
工種	道路のり面修繕工事		
種別	標準横断面	番号	2/2
路線名	下有地向永谷線・6-1		
工事箇所	福山市芦田町地内		
福 山 市			

標準横断面図(本線)(2)

S=1:50

NO.4付近

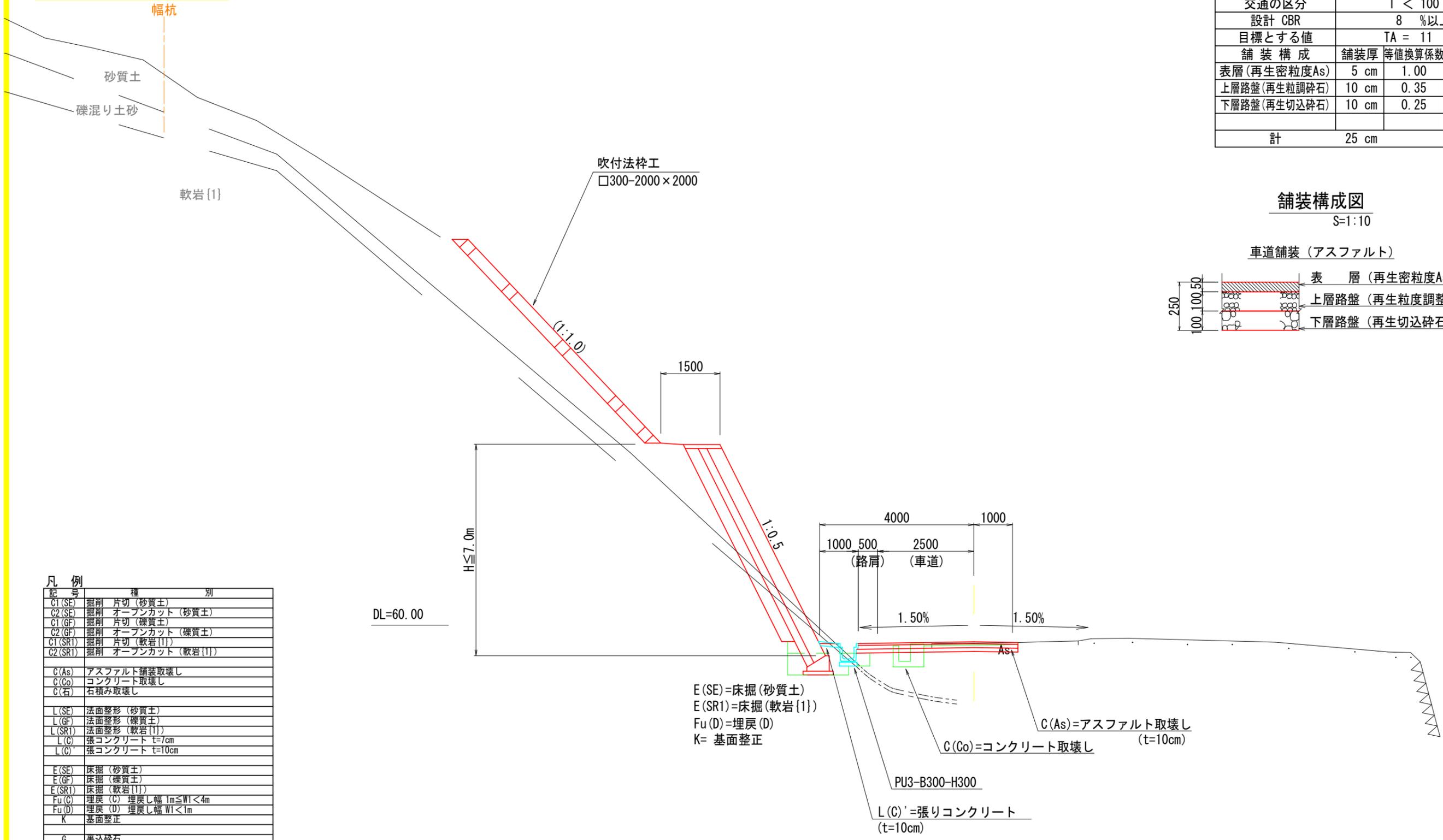
道路規格と舗装構成

道路規格	第3種 第5級		
設計速度	V = 20 km/h		
標準幅員構成	W = 5.00m		
交通の区分	T < 100		
設計 CBR	8 %以上		
目標とする値	TA = 11		
舗装構成	舗装厚	等値換算係数	TA値
表層(再生密粒度As)	5 cm	1.00	5.00
上層路盤(再生粒度調整碎石)	10 cm	0.35	3.50
下層路盤(再生切込碎石)	10 cm	0.25	2.50
計	25 cm		11.00

舗装構成図

S=1:10

車道舗装(アスファルト)



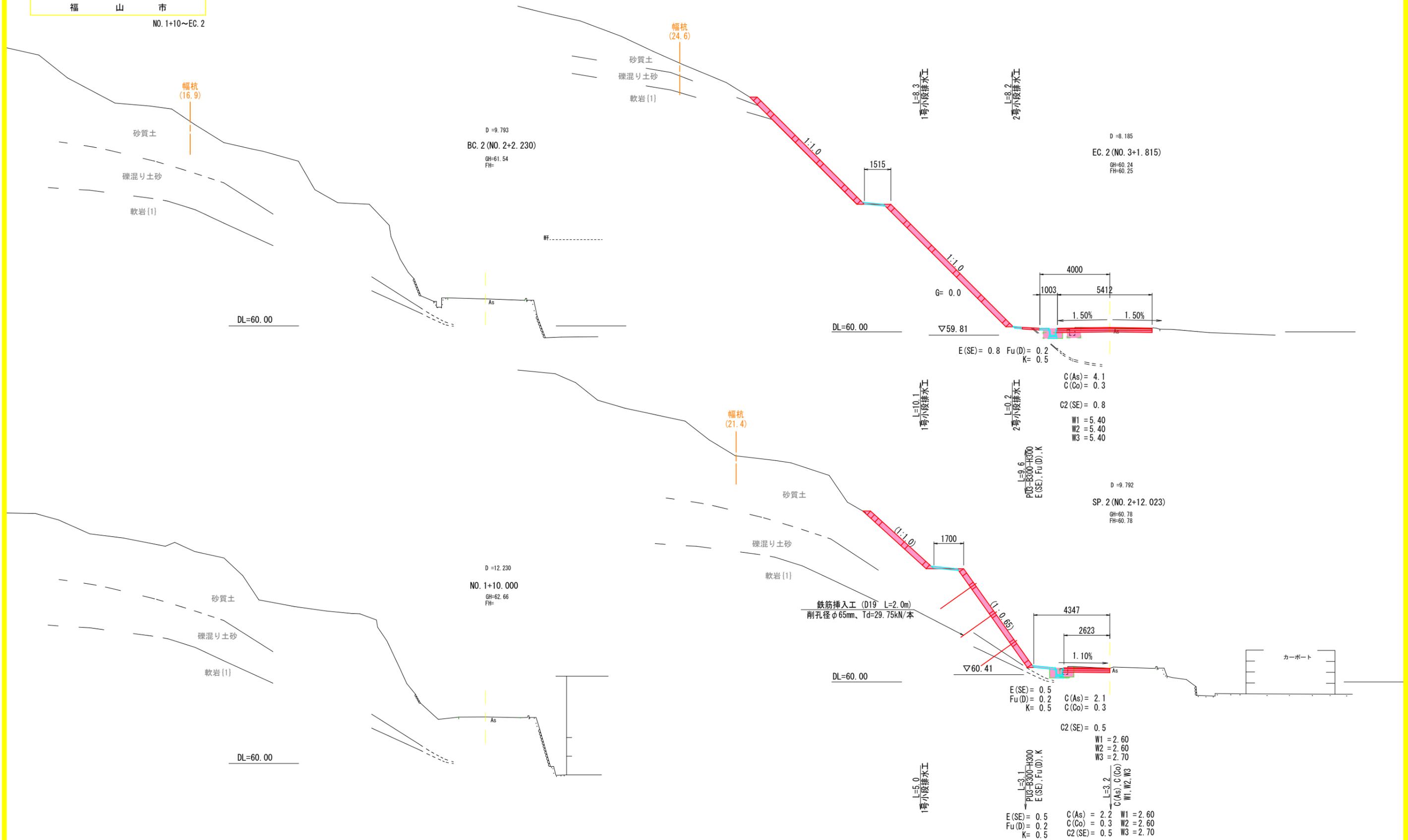
凡例

記号	種別
C1(SE)	掘削 片切(砂質土)
C2(SE)	掘削 オープンカット(砂質土)
C1(GF)	掘削 片切(礫質土)
C2(GF)	掘削 オープンカット(礫質土)
C1(SR1)	掘削 片切(軟岩{1})
C2(SR1)	掘削 オープンカット(軟岩{1})
C(As)	アスファルト舗装取壊し
C(Co)	コンクリート取壊し
C(石)	石積み取壊し
L(SE)	法面整形(砂質土)
L(GF)	法面整形(礫質土)
L(SR1)	法面整形(軟岩{1})
L(C)	張コンクリート t=7cm
L(C)'	張コンクリート t=10cm
E(SE)	床掘(砂質土)
E(GF)	床掘(礫質土)
E(SR1)	床掘(軟岩{1})
Fu(C)	埋戻(C) 埋戻し幅 1m ≤ W1 < 4m
Fu(D)	埋戻(D) 埋戻し幅 W1 < 1m
K	基面整正
G	裏込碎石
W1	車道舗装 表層(再生密粒度As)
W2	上層路盤(再生粒度調整碎石RM-30)
W3	下層路盤(再生切込碎石RC-30)

E(SE)=床掘(砂質土)
 E(SR1)=床掘(軟岩{1})
 Fu(D)=埋戻(D)
 K=基面整正
 C(As)=アスファルト取壊し (t=10cm)
 C(Co)=コンクリート取壊し
 PU3-B300-H300
 L(C)'=張りコンクリート (t=10cm)

図面番号	6/10	縮尺	S=1:100
工種	道路のり面修繕工事		
種別	横断面	番号	1/2
路線名	下有地向永谷線・6-1		
工事箇所	福山市芦田町地内		
福 山 市			

NO. 1+10~EC. 2



幅杭 (16.9)

幅杭 (24.6)

幅杭 (21.4)

D = 9.793
BC. 2 (NO. 2+2. 230)
GH=61.54
FH=

D = 8.185
EC. 2 (NO. 3+1. 815)
GH=60.24
FH=60.25

DL=60.00

DL=60.00

DL=60.00

DL=60.00

D = 12.230
NO. 1+10.000
GH=62.66
FH=

D = 9.792
SP. 2 (NO. 2+12. 023)
GH=60.78
FH=60.78

G= 0.0

▽59.81

E (SE) = 0.8 Fu (D) = 0.2
K = 0.5

C (As) = 4.1
C (Co) = 0.3
C2 (SE) = 0.8
W1 = 5.40
W2 = 5.40
W3 = 5.40

L=0.6
PUS-B300-H300
E (SE), Fu (D), K

鉄筋挿入工 (D19 L=2.0m)
削孔径φ65mm、Td=29.75kN/本

▽60.41

E (SE) = 0.5
Fu (D) = 0.2
K = 0.5

C (As) = 2.1
C (Co) = 0.3

C2 (SE) = 0.5
W1 = 2.60
W2 = 2.60
W3 = 2.70

L=3.1
PUS-B300-H300
E (SE), Fu (D), K

C (As) = 2.2
C (Co) = 0.3
C2 (SE) = 0.5

W1 = 2.60
W2 = 2.60
W3 = 2.70

L=8.3
1号小段排水工

L=8.2
2号小段排水工

L=10.1
1号小段排水工

L=0.2
2号小段排水工

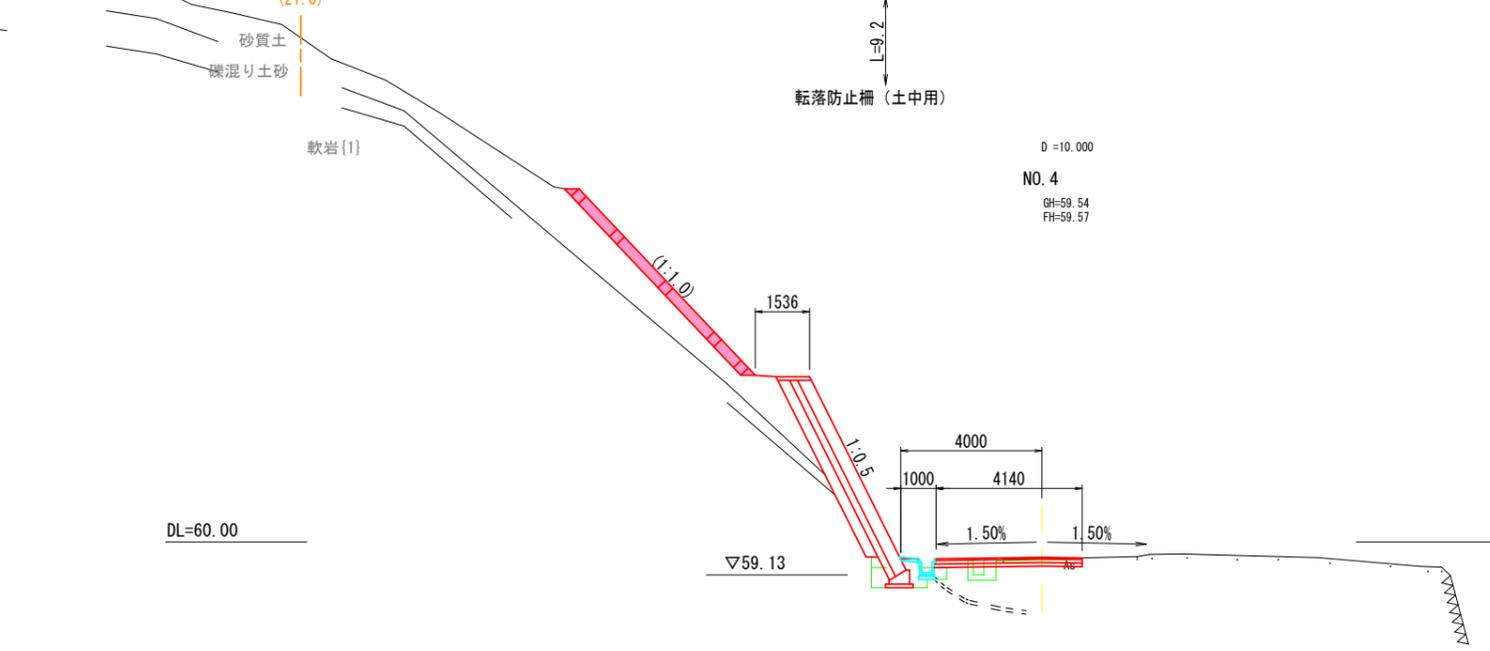
L=5.0
1号小段排水工

L=3.2
C (As), C (Co)
W1, W2, W3

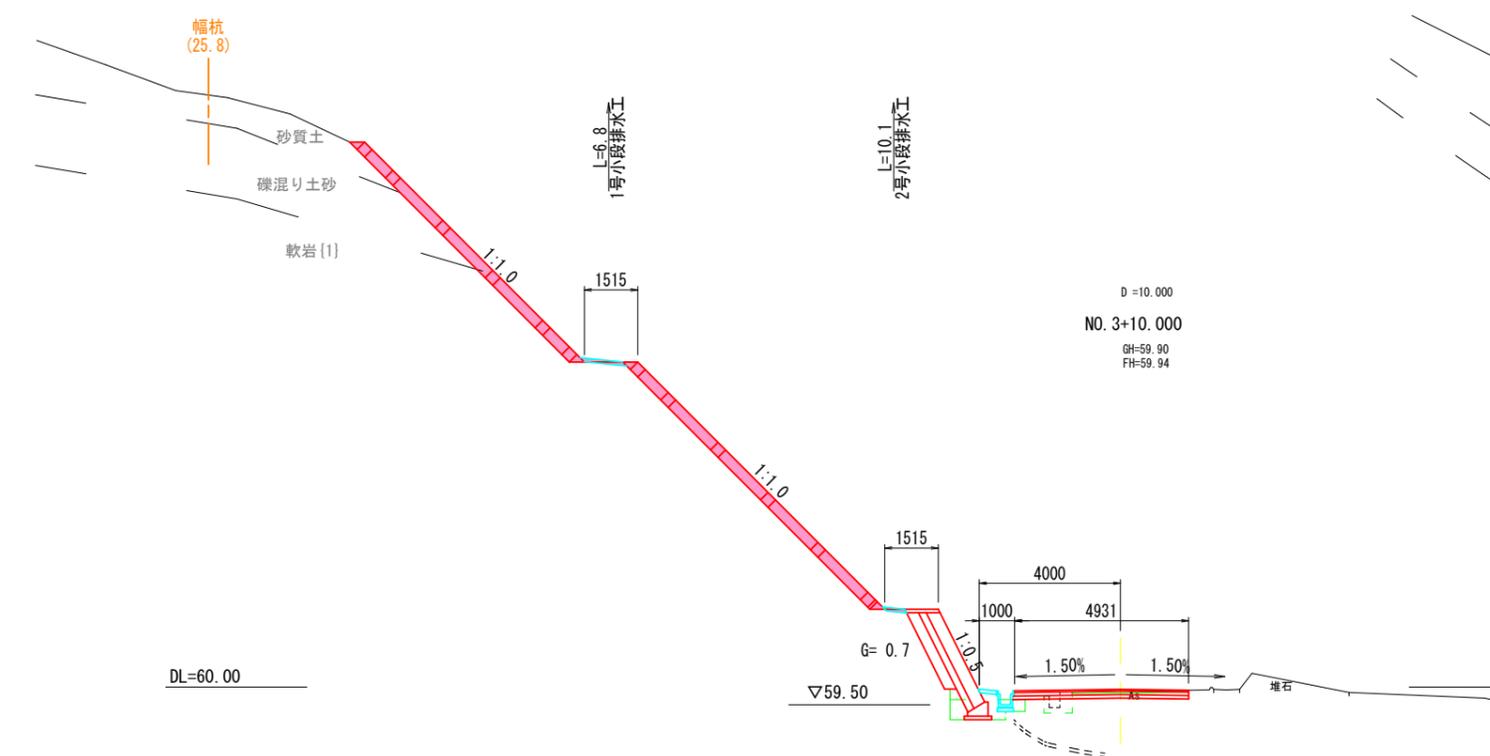
カーポート

図面番号	7/10	縮尺	S=1:100
工種	道路のり面修繕工事		
種別	横断面	番号	2/2
路線名	下有地向永谷線・6-1		
工事箇所	福山市芦田町地内		

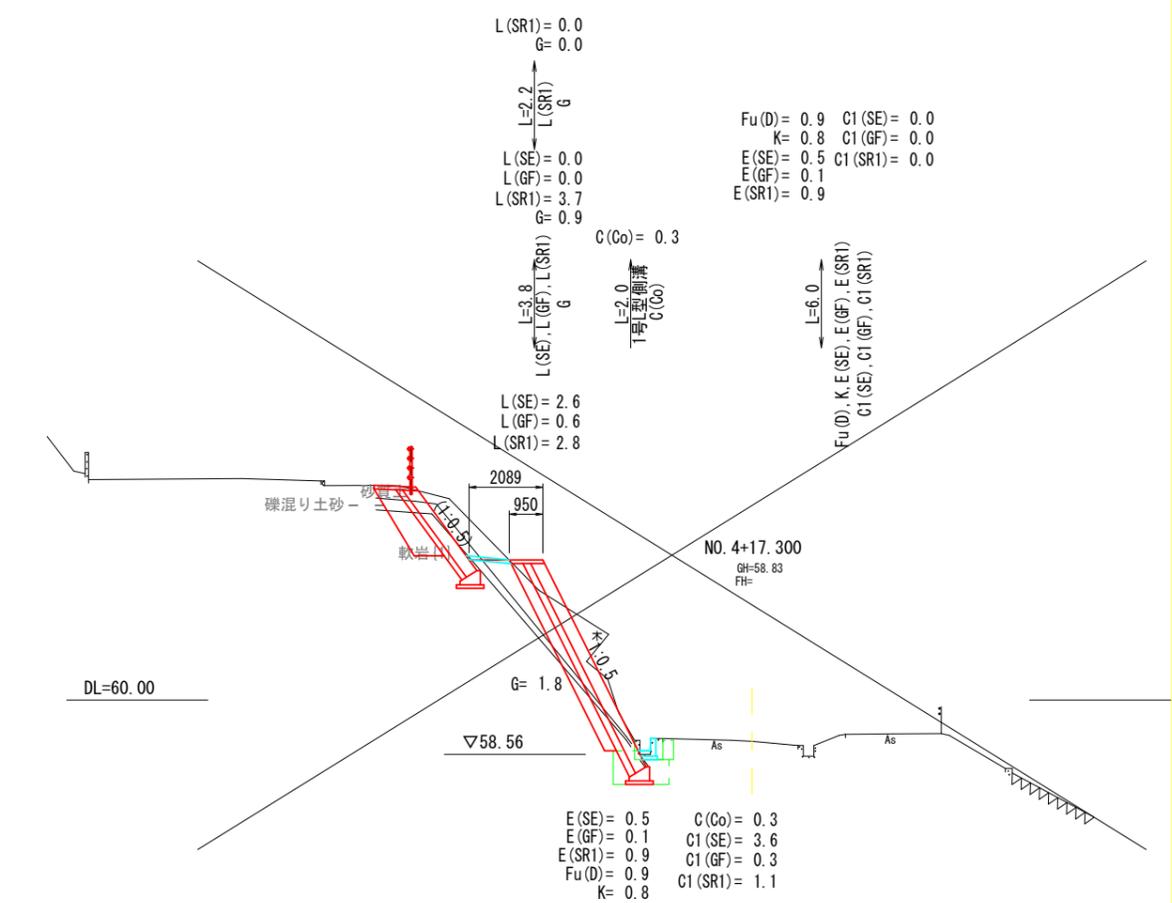
福山市
NO.3+10~NO.4+17.3



D=10.000
NO. 4
GH=59.54
FH=59.57



D=10.000
NO. 3+10.000
GH=59.90
FH=59.94

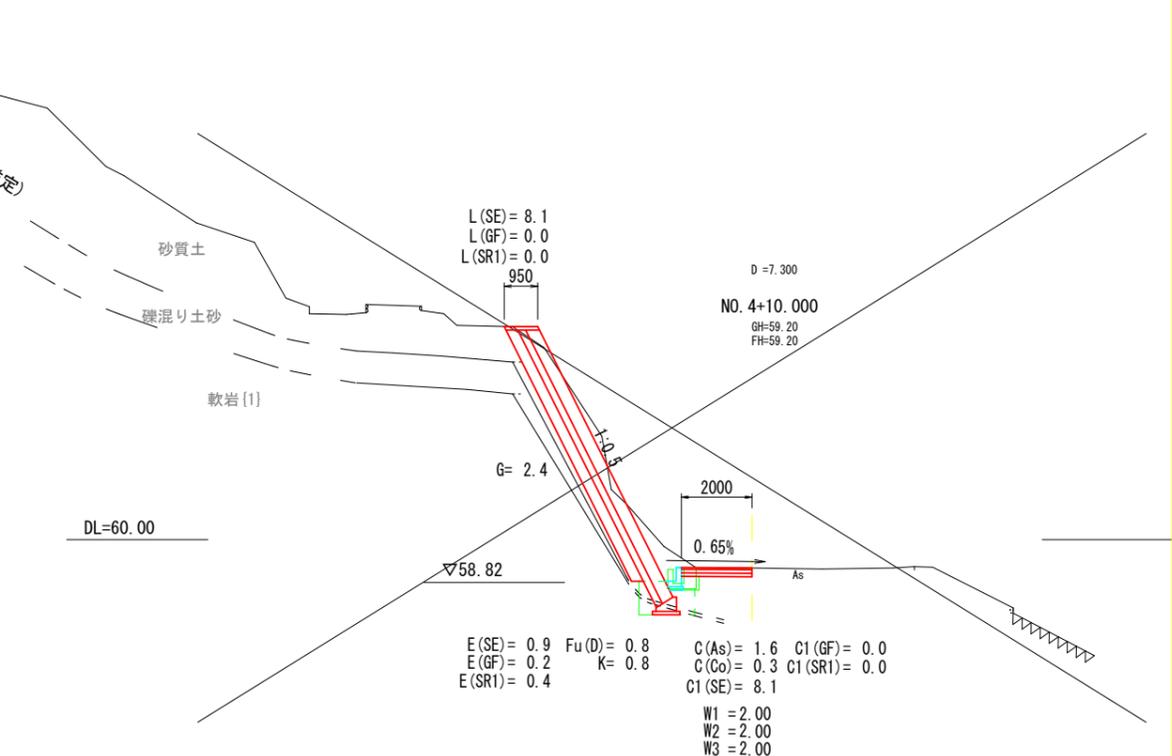


L(SR1)=0.0
G=0.0
L(SE)=0.0
L(GF)=0.0
L(SR1)=3.7
G=0.9
Fu(D)=0.9
K=0.8
E(SE)=0.5
E(GF)=0.1
E(SR1)=0.9
C1(SE)=0.0
C1(GF)=0.0
C1(SR1)=0.0
C(Co)=0.3

L(SE)=2.6
L(GF)=0.6
L(SR1)=2.8

NO. 4+17.300
GH=58.83
FH=

E(SE)=0.5
E(GF)=0.1
E(SR1)=0.9
Fu(D)=0.9
K=0.8
C(Co)=0.3
C1(SE)=3.6
C1(GF)=0.3
C1(SR1)=1.1

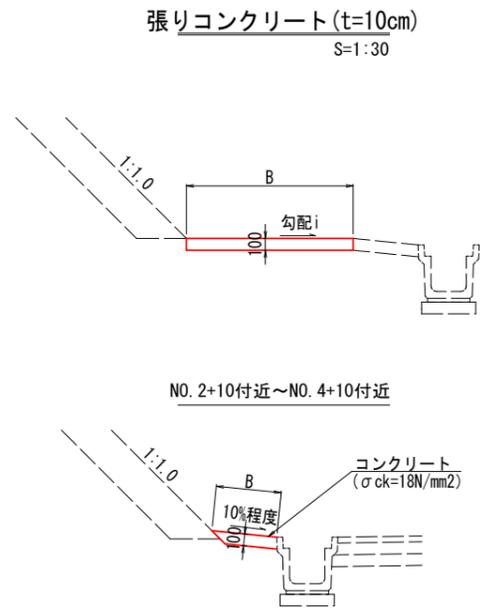
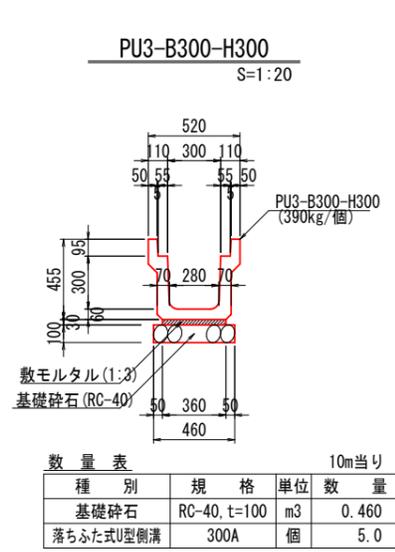


L(SE)=8.1
L(GF)=0.0
L(SR1)=0.0

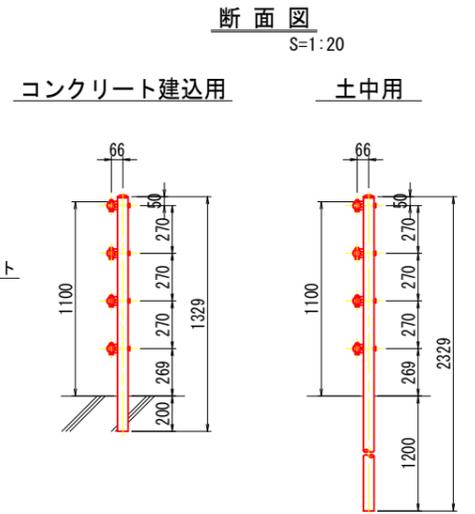
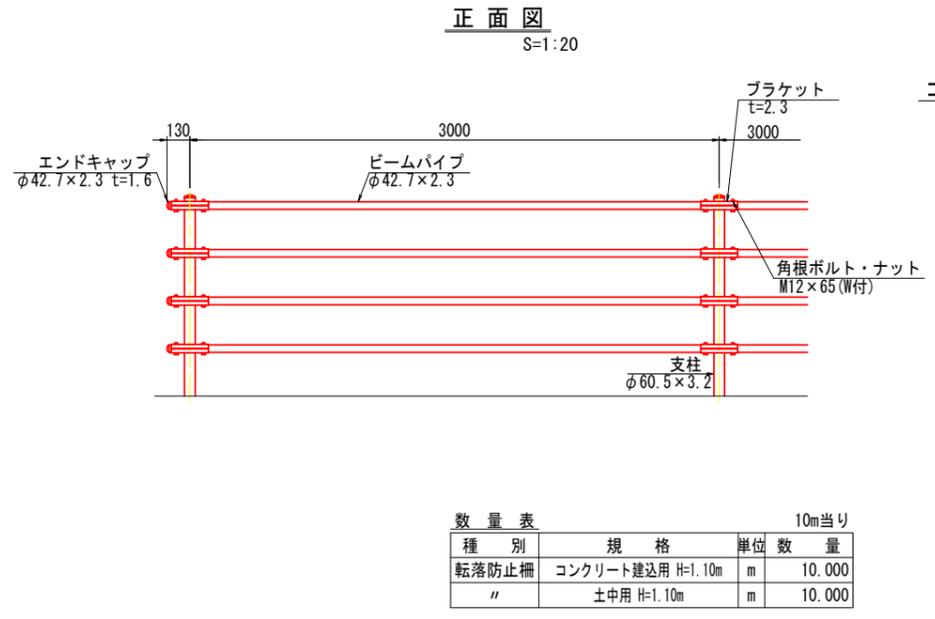
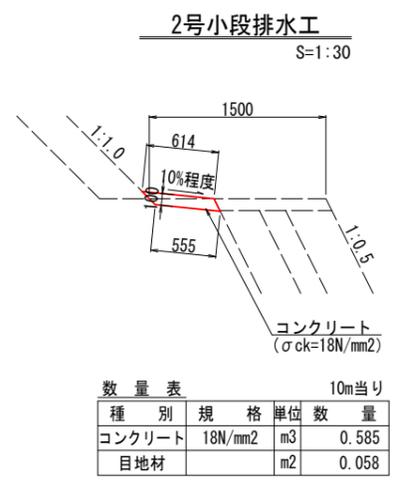
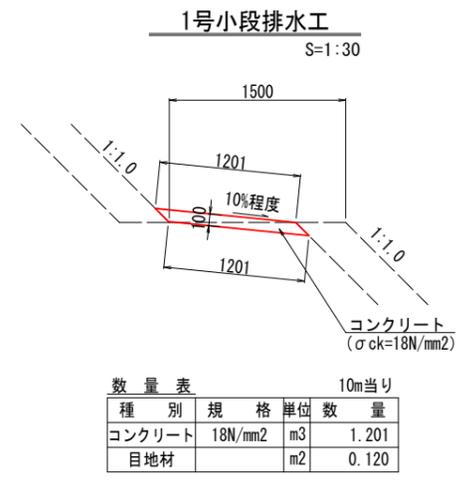
D=7.300
NO. 4+10.000
GH=59.20
FH=59.20

E(SE)=0.9
E(GF)=0.2
E(SR1)=0.4
Fu(D)=0.8
K=0.8
C(As)=1.6
C(Co)=0.3
C1(SE)=8.1
C1(GF)=0.0
C1(SR1)=0.0
W1=2.00
W2=2.00
W3=2.00

図面番号	8/10	縮尺	図示
工種	道路のり面修繕工事		
種別	構造図	番号	1/2
路線名	下有地向永谷線・6-1		
工事箇所	福山市芦田町地内		
福 山 市			



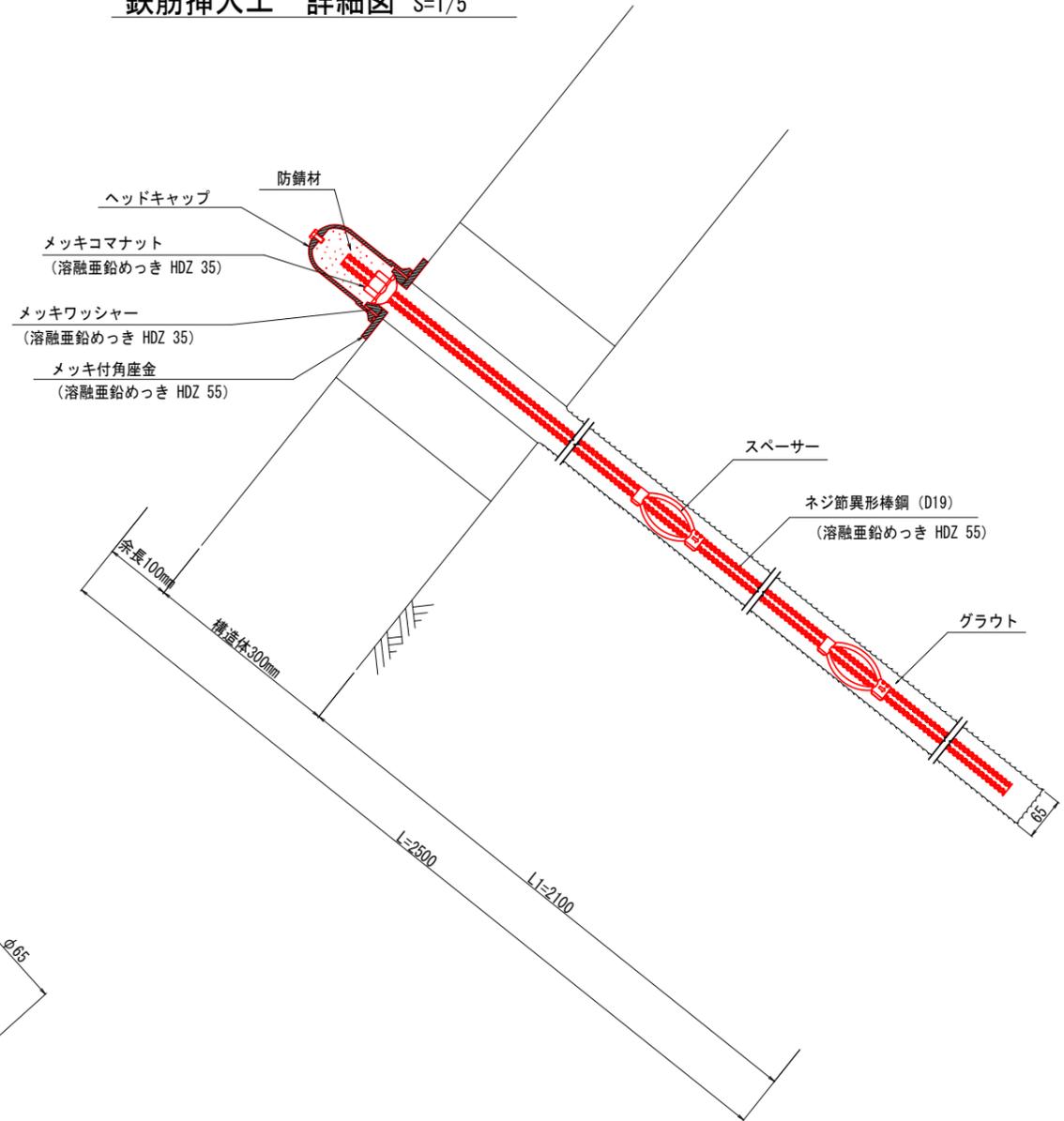
ガードパイプ(参考図)
(PZ-L4-11B 同等品以上)



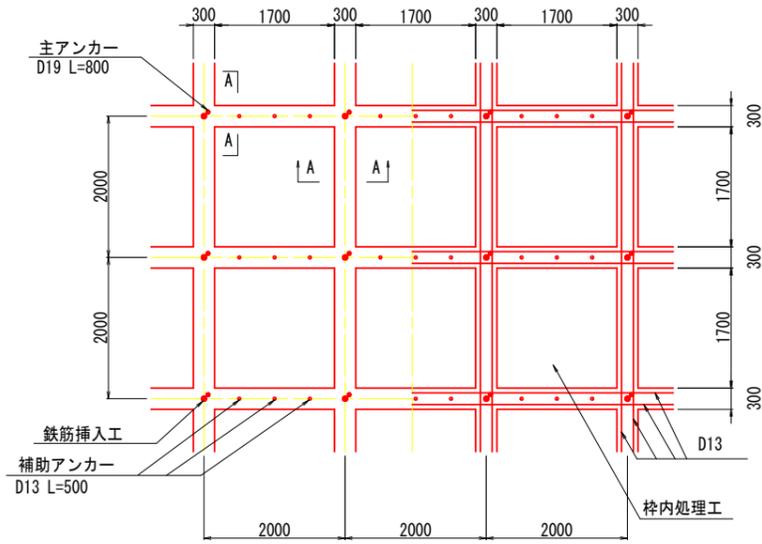
図面番号	9/10	縮尺	図示
工種	道路のり面修繕工事		
種別	構造図	番号	2/2
路線名	下有地向永谷線・6-1		
工事箇所	福山市芦田町地内		
福山市			

吹付法枠工(口300) + 鉄筋挿入工 (D19) 標準施工図

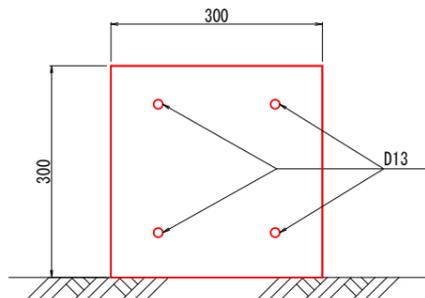
鉄筋挿入工 詳細図 S=1/5



展開図 S=1/50

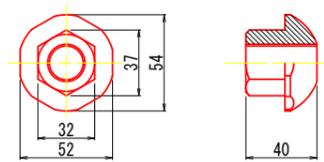


A-A断面 S=1/5

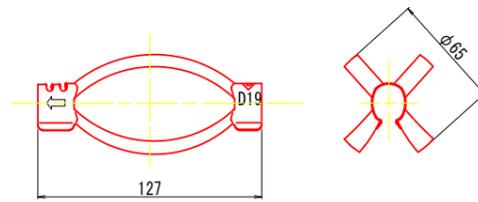


鉄筋挿入工部品図 S=1/2

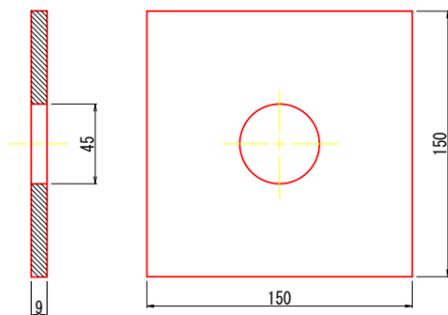
メッキコマナット (D19用)
(溶融亜鉛めっき HDZ 35)



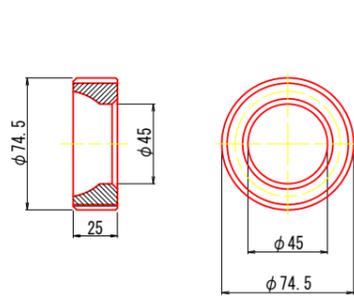
スペーサー-D19-65 (電気メッキ)



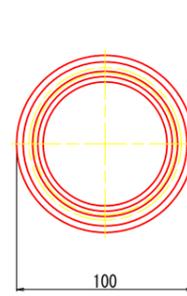
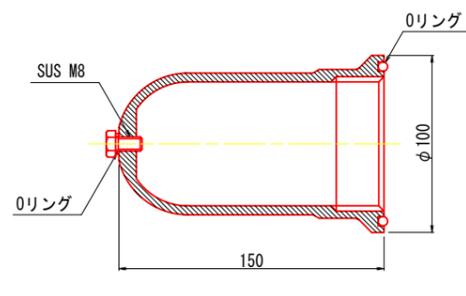
メッキ付角座金
(溶融亜鉛めっき HDZ 55)



メッキワッシャー
(溶融亜鉛めっき HDZ 35)



ヘッドキャップ

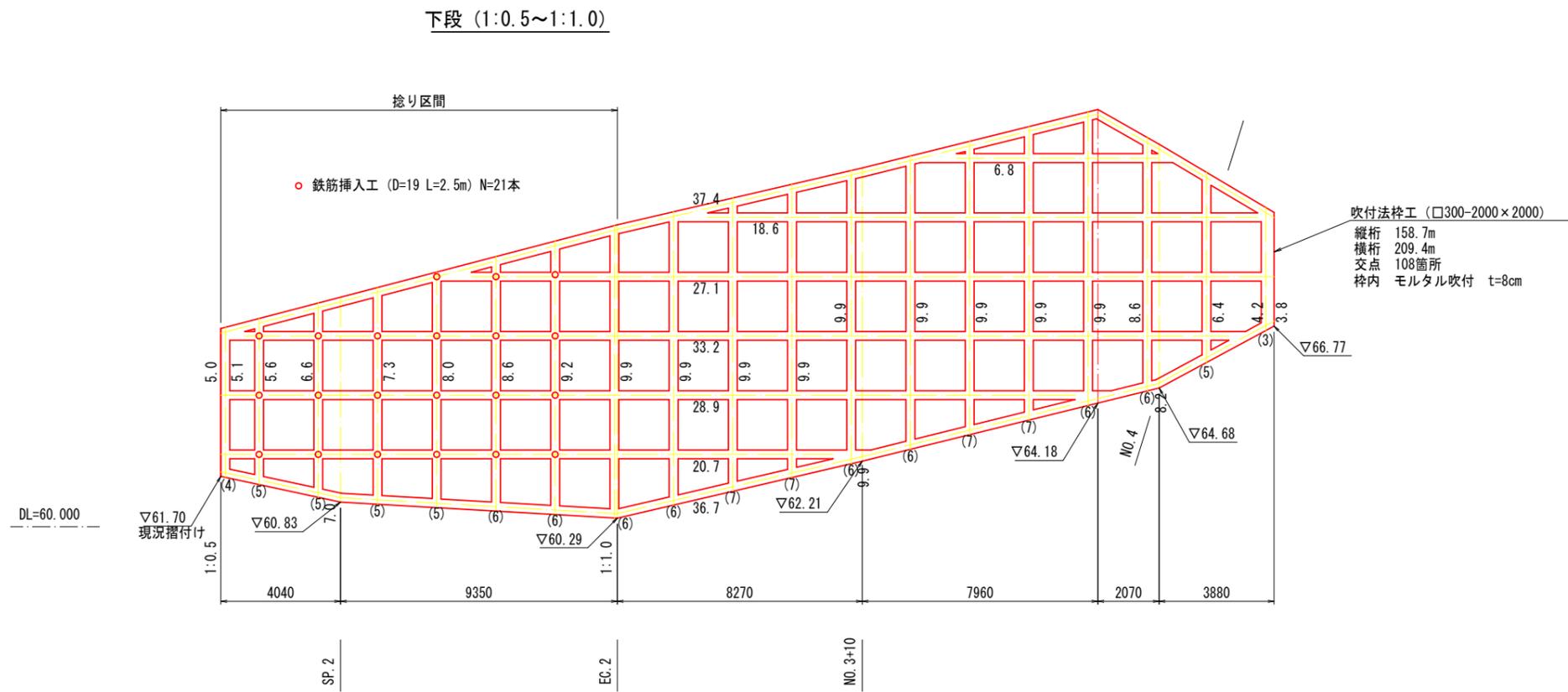
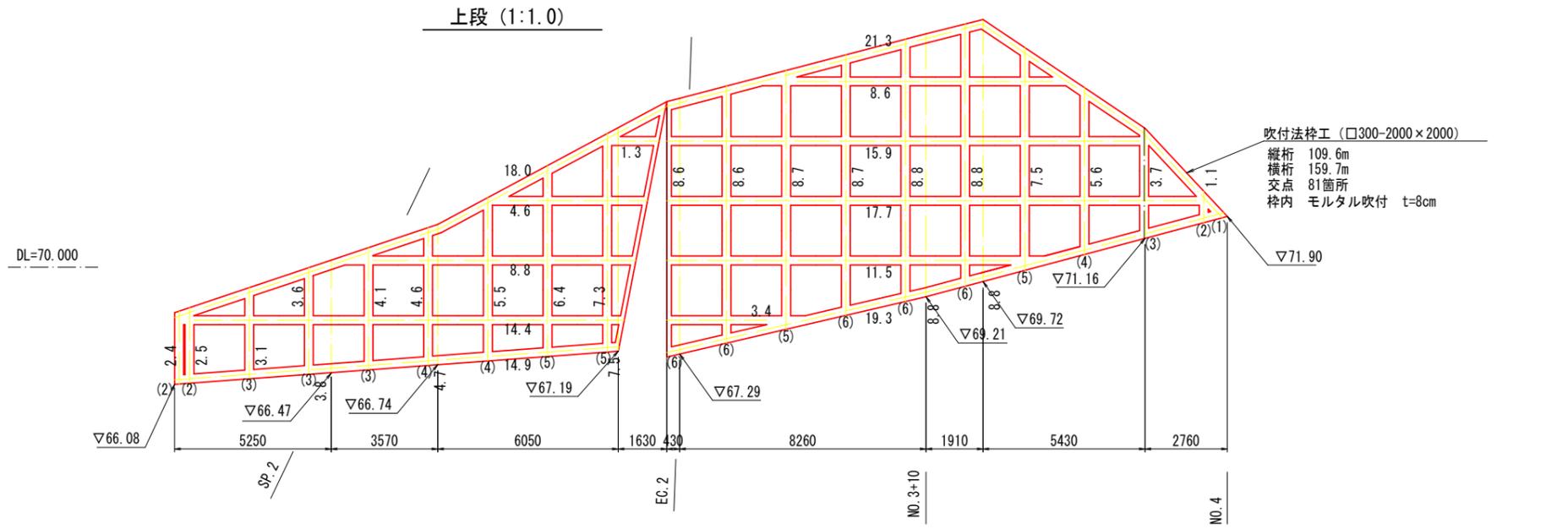


※防錆材360g入り

図面番号	10/10	縮尺	S=1:100
工種	道路のり面修繕工事		
種別	切土法面展開図	番号	／
路線名	下有地向永谷線・6-1		
工事箇所	福山市芦田町地内		
福 山 市			

切土法面展開図

S=1:100



参 考 图 书

施工単価表

掘削
土砂 オープンカット 押土無し

SPK24040001

単第0 -0001 表

障害無し 5,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 44.26% 労務構成比:

36.73%

材料構成比: 19.01%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

328.03000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	44.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	36.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	19.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0002 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 45.59% 労務構成比:

39.52%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,020.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=16 距離5.5km以下(4.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

鉄筋挿入工
現場条件I

SS000259

単第0 -0006 表

1

本 当り

[規]100m未満

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋挿入工 現場条件1【手間のみ】 削孔時足場：なし	2.100	m			
異形棒鋼ロックボルト D19,SD345(めっき付き)	2.500	m			
角座金 150×150×9mm, 45(めっき付き)	1.000	枚			
ワッシャー D19用,D22用,D25用(めっき付き)	1.000	個			
スペーサー D19用,D22用,D25用(めっき付き)	2.000	個			
ナット D19用(めっき付き)	1.000	個			
頭部キャップ 防錆材含む	1.000	個			
シース D19用,D22用,D25用	1.000	個			
グラウト注入材	0.010	m3			単第0-0007 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 現場条件I D=2.5 鋼材の長さ(m) F=2.1 削孔長(m/本)			B=1 異形棒鋼ロックボルト_D19,SD345 E=65 削孔径(mm) G=1 角座金(めっき付)		

施工単価表

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0009 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 29.40%

材料構成比: 70.60%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

28,051.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

床掘り

SPK24040015

単第0 -0010 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 19.87%

労務構成比: 72.99%

材料構成比: 7.14%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,170.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し
土砂

SPK24040020

単第0 -0011 表

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 9.48% 労務構成比:

86.47% 材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,871.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.90%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.58%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		

施工単価表

舗装版破碎

SPK24040305

単第0 -0015 表

アスファルト舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 13.49%

労務構成比:

80.49%

材料構成比:

6.02%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

207.06000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	13.49%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	28.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 44.95% 労務構成比: 38.97%

SPK24040151

DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)

材料構成比: 16.08% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0017 表

1
標準単価:

m3 当り
1,569.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=2 機械積込(騒対不要, 15cm超)又(騒対要) D=20 運搬距離4.5km以下(3.5km超)		

施工単価表

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0018 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 41.69% 労務構成比:

43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,276.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

頁0 -0021

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0019 表

平均幅員1.4m以上3.0m以下

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.61% 労務構成比: 13.99%

材料構成比: 84.40%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,934.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4~3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.03%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.21%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.19%		タイヤローラ 質量3~4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	3.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	3.18%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK24040241

単第0 -0019 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.61% 労務構成比: 13.99%

材料構成比: 84.40%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,934.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	77.40%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	6.70%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.27%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK24040234

単第0 -0020 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 9.88%

労務構成比:

33.13%

材料構成比:

56.99%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

569.67000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	3.96%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.13%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.01%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	15.46%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.15%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	5.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK24040234

単第0 -0020 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 9.88%

労務構成比: 33.13%

材料構成比: 56.99%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

569.67000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	53.57%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK24040232

単第0 -0021 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 4.67%

労務構成比:

15.69%

材料構成比: 79.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,202.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	1.87%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	1.48%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.48%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	7.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	2.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	0.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK24040232

単第0 -0021 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 4.67% 労務構成比:

15.69%

材料構成比: 79.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,202.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャー 30~0mm	78.02%		クラッシャー 40~0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0018 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1	全仕上り厚(mm) -(全ての費用)		B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

下有地向永谷線		数量総括表				
工種	種別	細目	単位	合計数量	計上数量	摘要
道路改良						
道路土工						
	掘削工					
	砂質土	オープン	m3	8.0	8	
	残土処理工					
	残土	砂質土	m3	13.0	10	
法面工						
	吹付法砕工					
	ラス張	線形2.0×網目50	m2	513.4	513	
	吹付法砕	梁断面300	m	580.7	581	
	砕内モルタル吹付	t=8cm	m2	322.3	322	
	水切モルタル	1:4	m3	8.3	8	
	鉄筋挿入工					
	現場条件 I	削孔径φ65mm	m	44.1	44	
	鉄筋挿入材料費	D19 L=2.5m	式	1.0	1	
	防草対策工					
	張コンクリート	t=10cm	m2	17.4	17	
排水構造物工						
	作業土工					
	床掘	砂質土	m3	7.8	8	
	埋戻	種別 (D)	m3	2.5	3	
	基面整正		m2	6.4	6	
	側溝工					
	PU3-B300-H300		m	12.7	13	
	排水工					
	1号小段排水工		m	30.2	30	
	2号小段排水工		m	18.5	19	
構造物撤去工						
	構造物取壊し工					
	舗装版取壊し	アスファルト舗装 t=5cm	m2	37.3	37	
	コンクリート構造物取壊し	無筋構造物	m3	3.9	4	
	運搬処理工					
	殻運搬処理	アスファルト	m3	1.9	2	
	"	"	t	4.5	4	
	"	コンクリート	m3	3.9	4	
	"	"	t	9.2	9	
舗装工						
	アスファルト舗装工					
	表層	再生密粒度As	m2	47.5	48	t=5cm
	上層路盤	再生粒調碎石RM-30	m2	47.5	48	t=10cm
	下層路盤	再生切込碎石RC-30	m2	48.3	48	t=10cm
付属施設工						
	防護柵工					
	転落防止柵	土中用	m	9.2	9	

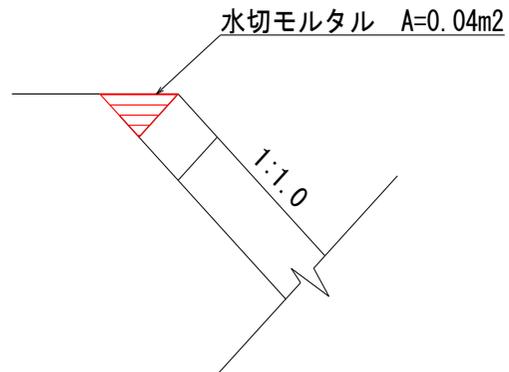
法面工(上段)

数量計算書

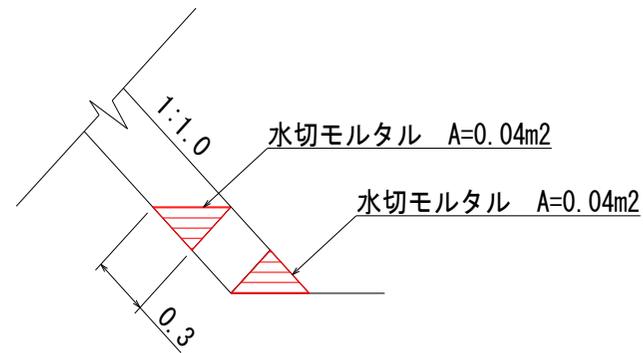
種別	規格	算式	単位	単位当り数量	数量	備考
吹付枠	□300	(縦桁) 109.6m (横桁) 159.7m (交点数) 81箇所 展開図参照 (109.6 + 159.7) - 81 × 0.3 = 245.0m	m		245.0	
ラス張り	φ 2.0-5.0	ラス張り計算書参照参照	m2		206.2	
枠内モルタル吹付	t=8cm	(枠内面積) 206.20㎡ - 245.0m × 0.3 = 132.70㎡ (水切控除) (34.2m - 0.3m × 20本) × 0.30m = 8.46m2 計 132.7㎡ - 8.46m2 = 124.2㎡	m2		124.2	
水切モルタル	1:4	(法肩) 0.04㎡ × 39.3m = 1.57m3 (最下段) 0.04㎡ × (34.2m - 0.3m × 20本) = 1.13m3 (法尻) 0.04㎡ × 34.2m = 1.37m3 (合計) 1.57 + 1.13 + 1.37 = 4.07m3	m3		4.1	

(水切モルタル概図)

(法肩)



(法尻)



法面工(下段)

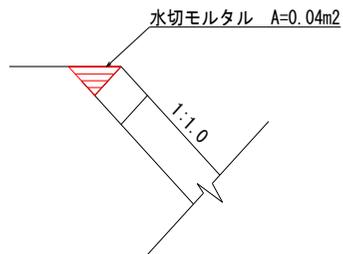
数量計算書

種別	規格	算式	単位	単位当り数量	数量	備考
吹付枠	□300	(縦桁) 158.7m (横桁) 209.4m (交点数) 108箇所 展開図参照 (158.7 + 209.4) - 108 × 0.3 = 335.7m	m		335.7	
ラス張り	φ2.0-5.0	ラス張り計算書参照	m2		307.2	
枠内モルタル吹付	t=8cm	(枠内面積) 307.20㎡ - 335.7m × 0.3 = 206.49㎡ (水切控除) (36.7m - 0.3m × 19本) × 0.27m = 8.37m3 計 206.5㎡ - 8.37m3 = 198.1㎡	m2		198.1	
水切モルタル	1:4	(法肩) 0.04㎡ × 37.4m = 1.50m3 (最下段) 0.04㎡ × (36.7m - 0.3m × 19本) = 1.24m3 (法尻) 0.04㎡ × 36.7m = 1.47m3 (合計) 1.50 + 1.24 + 1.47 = 4.21m3	m3		4.2	

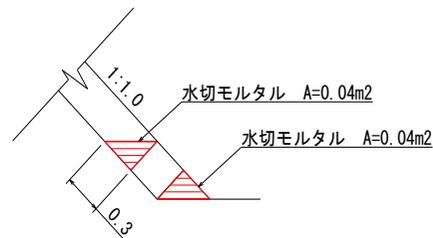
(水切モルタル概図)

水切りモルタル平均勾配 1:0.9

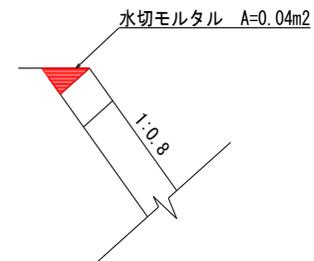
(法肩)



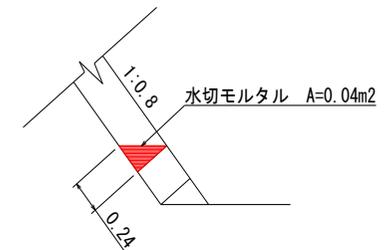
(法尻)



(法肩)



(法尻)



計 第

表 ラ ス 張

計 算 書

測 点	ラス張り							
	距 離	断 面	平 均	平 積				
(上段)								
		2.4						
SP.2	5.3	3.8	3.10	16.4				
	3.6	4.7	4.25	15.3				
	6.1	7.5	6.10	37.2				
	1.6	0.0	3.75	6.0				
		8.6						
	0.4	8.6	8.60	3.4				
EC.2	8.3	8.8	8.70	72.2				
	1.9	8.8	8.80	16.7				
	5.4	3.7	6.25	33.8				
NO.4	2.8	0.0	1.85	5.2	206.2			
(下段)								
		5.0						
SP.2	4.0	7.0	6.00	24.0				
EC.2	9.4	9.9	8.45	79.4				
NO.3+10	8.3	9.9	9.90	82.2				
	8.0	9.9	9.90	79.2				
NO.4	2.1	8.2	9.05	19.0				
	3.9	3.8	6.00	23.4	307.2			
合計					513.4			

鉄筋挿入工

数量計算書

種 別	規 格	算 式	単 位	単 位 当 り 数 量	数 量	備 考
現場条件 I	φ 65	(ボルト 2.5m - 頭部余長 0.1m - 法面工 0.3m) × 箇所 21 = 44.10m	m	1箇所当り 2.10	44.1	
ネジ節異形棒鋼 (メッキ付き)	SD345 D19 2.5m	展開図参照	本	1箇所当り 1	21	
スペーサー	D19-65	本数合計 21.0 × 2.0 = 42 個	個	1箇所当り 2	42	
角座金(メッキ)	150*150*9	補強材本数合計	枚	1箇所当り 1	21	
メッキワッシャー		補強材本数合計	個	1箇所当り 1	21	
メッキコマナット	D19用	補強材本数合計	個	1箇所当り 1	21	
ヘッドキャップ	防錆材	補強材本数合計	個	1箇所当り 1	21	
グラウト材	σ=24N/mm2	1本あたりのグラウト使用量 (π / 4 × 削孔径 ² / 10 ⁶) × (削孔長 + 桁厚) × 1.4 (ロス率) (π / 4 × 65 ² / 10 ⁶) × 50.4 × 1.4 = 0.234	m3		0.23	
セメント	普通 ポルトランド	1230kg/m ³	kg	1m3当り 1,230	288	
減水剤	マスターロック FLC 400	減水剤(セメント量C×1%)	ℓ	1m3当り 12.3	2.9	

計 第 表 防 草 対 策 工 計 算 書

張コンクリート t=10cm

測 点	距 離	断 面	平 均	平 積				
SP. 2付近				1.7				
NO. 2+10付近				15.7				
NO. 2+10付近 ~NO. 4+10付近				15.7				
合 計				17.4				

計第 表 1号小段排水工			延 長 調 書		
左 側			右 側		
測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要
			NO. 2+8.3 ~ NO. 3+16.8	30.2	
左側合計	0.0		右側合計	30.2	
左右合計	30.2				

計第 表 2号小段排水工			延 長 調 書		
左 側			右 側		
測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要
			EC. 2 ~ NO. 4	18.5	
左側合計	0.0		右側合計	18.5	
左右合計	18.5				

